

1 .(仮称) 北見カーリングホール建設基本実施設計の概要について

北見市の地域資源であるカーリングを活用した地方創生を推進するとともに、老朽化の進む民営カーリングホールの代替施設として、現在、北見自治区に新たな通年型のカーリングホールを来年10月頃の供用開始に向け整備しているところです。

この度、施設の建設基本実施設計を終え、概要については以下のとおりとなります。

(1) 建築概要

建物用途	カーリング場
計画敷地	北見市柏陽町 592 番地 20、603 番地 14
敷地面積	約 5,300 m ²
建築面積	約 1,750 m ²
延床面積	約 1,750 m ²
構造・階数	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造、地上 1 階
用途地域	第一種住居地域
防火地域	指定なし

(2) 配置

[立地条件]

計画地は JR 北見駅より北東に位置し、東側には北見柏陽高校、西側に北見工業大学、北側に日本赤十字北海道看護大学があります。

敷地は文京北 1 線道路とハイテクパーク道路の 2 つの道路に面しており、北西側隣地には戸建住宅、北東側隣地には北見工業大学社会連携推進センターがあり、ハイテクパーク道路側や南西側には建物は建っていません。

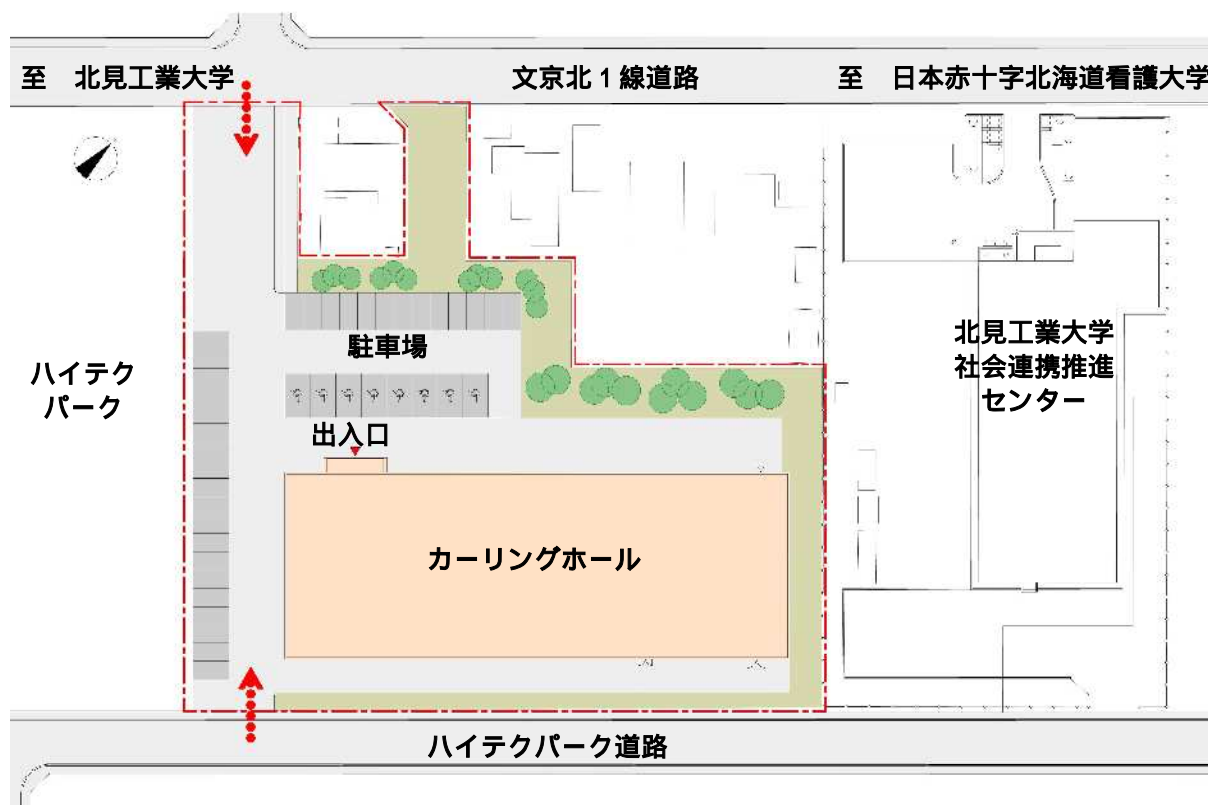
敷地形状は文京北 1 線道路からハイテクパーク側へ、東向きに下りの緩やかな斜面地となっており、高低差は 2 m 程度となっています。



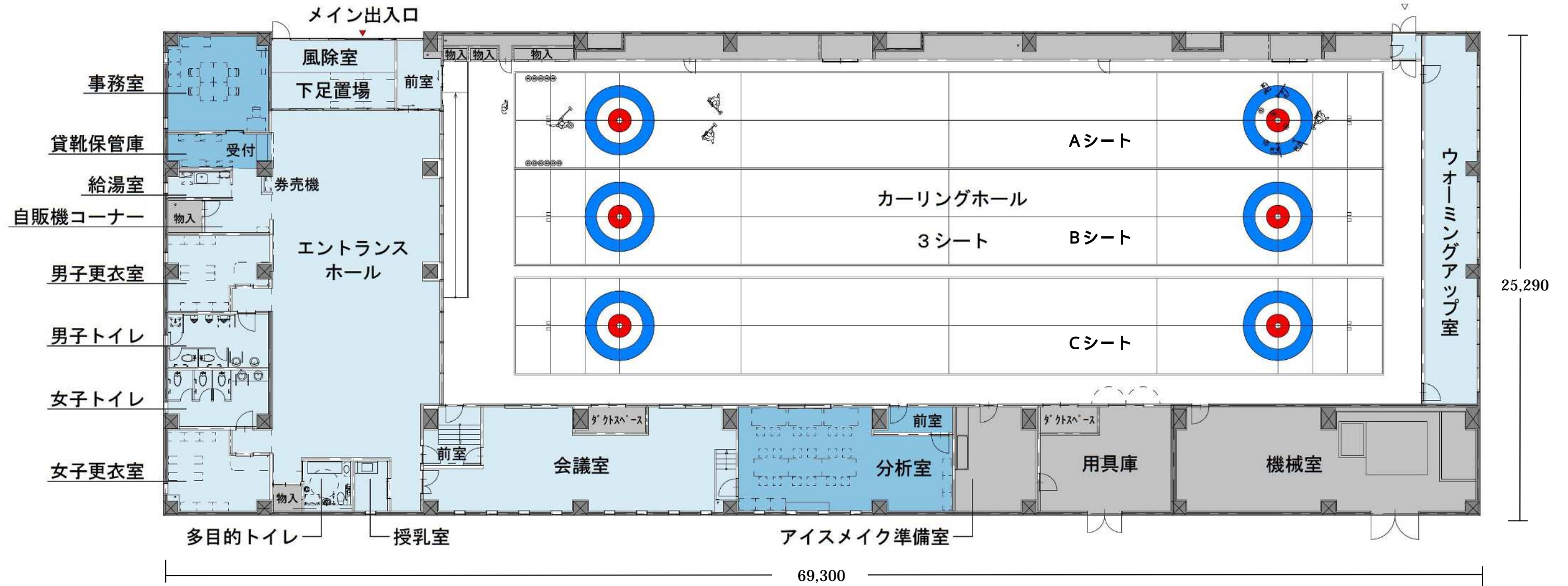
[建物配置]

敷地への主要な出入りは、文京北 1 線道路を想定した動線とし、裏側出入口としてハイテクパーク道路からもアクセスできるようにします。駐車スペースは 40 台分を配置し、その内車いす利用者用駐車スペースは建物出入口付近に 8 台分を配置します。

敷地周囲は、北西側に戸建住宅があることから、騒音の発生する冷凍機用室外機を可能な限り敷地南側に配置します。また、北西側隣接境界線に沿い良好な植栽帯があることから、これらを残した配置とします。



(3) 平面



出入口

- ・風除室を設け、館内は土足禁止とし下足置場を設置します。

エントランスホール

- ・競技者や関係者が一同に介することも想定し、十分な広さを備えた計画とします。
- ・競技を行うカーリングホール内を観覧可能な窓を設置します。

事務室

- ・施設への出入りが把握しやすい出入口付近に配置します。
- ・来訪者の受付、カーリング用具の貸出業務がしやすいように、カウンター、貸出スペースと一体的な配置とします。

会議室

- ・会議室はエントランスホールに近い位置とし、カーリングホールに面した配置とします。
- ・分析室と隣接させ、連携した利用も可能とします。

カーリングホール

- ・ エントランスホールから前室2か所を介して出入りします。
- ・ 3シートを配置し、そのうち1シートを研究用にも使用できるようにシート周囲、上部には計測機器などを取付けることが可能な設備を配置します。また、シート周囲には配線類敷設を考慮した床下スペースを設け、天井付近には、カメラ等の計測機器を設置できるケーブルラックを設置します。
- ・ ホール内の壁には、冷気を安定して保つ「インナーシェル構造」を採用し、壁面内に断熱性、気密性を兼ね備えた構造とし、室外、外部からの熱環境の変化の影響を受けにくい壁面構造とします。
- ・ 床レベルはエントランスホールから900mm低くし、エントランスホールからの視認しやすい計画とします。これは、氷面付近の冷気を保ちやすい状況をつくる機能も併せ持っています。
- ・ エントランスホールから900mm低くすることから段差が発生するため、車いす利用者などに対応したスロープを設置します。

分析室

- ・ カーリングホールに面して配置し、前室を介して同ホールから直接出入りできる配置とし、パソコンやサーバー類の配線がしやすい床下配線スペースを設けます。

アイスメイク準備室

- ・ 製氷管理をしやすいようにカーリングホールに隣接して配置します。
- ・ 室内には、純水装置、純水用タンクを配置し、ペブリングなどの製氷管理機能を備えた準備室とします。

ウォーミングアップ室

- ・ カーリングホールと隣接させて配置し、競技者のウォーミングアップの場や控室として利用できるようにします。

その他

- ・ 男女別トイレや更衣室のほか、オストメイト対応した多目的トイレやミニキッチンを備えた授乳室、機械室、用具室、物入などを配置します。

(4) 立面・断面

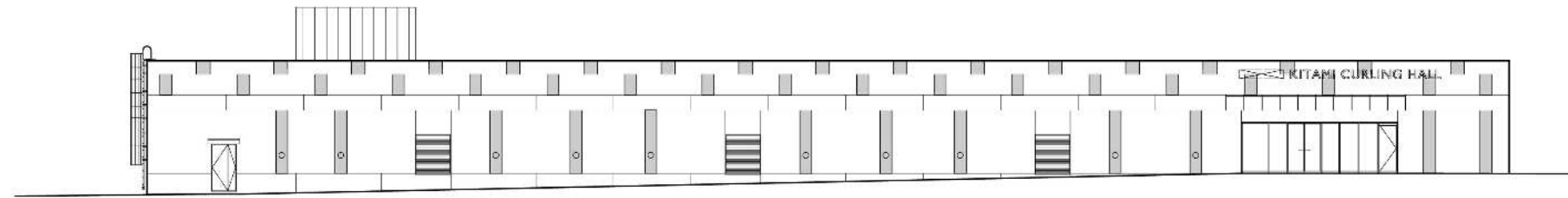
- ・ カーリングホールの横長のボリューム感のある大きな壁面を生かし、画一的ではなく端正かつリズムカルで清潔感のある外観とします。
- ・ 建物の高さを抑え、かつ屋根をフラットな形状とすることで、周辺への圧迫感を軽減します。
- ・ 外壁面は、落ち着いた色合いで、氷や雪をイメージした色彩により、清潔感のある明るい印象を強調します。



内観イメージ

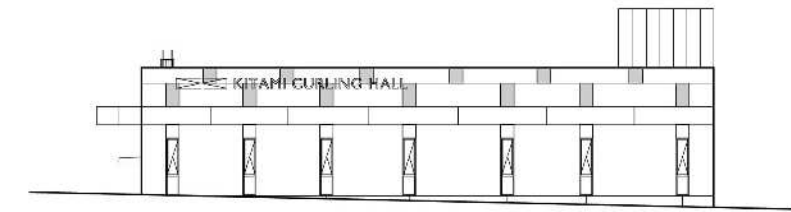


外観イメージ



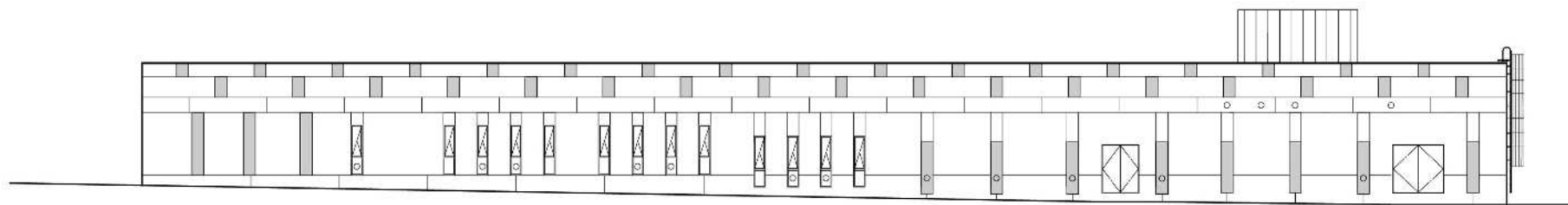
文京北1線道路側から見たイメージ

北側立面図



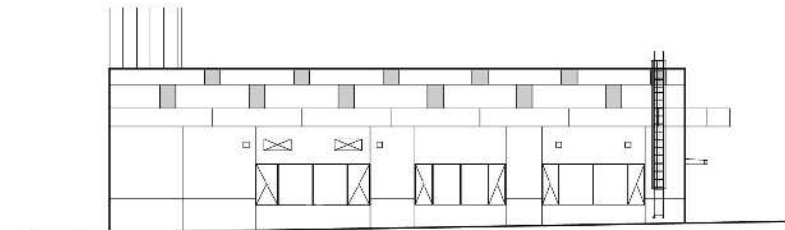
ハイテクパーク側から見たイメージ

西側立面図



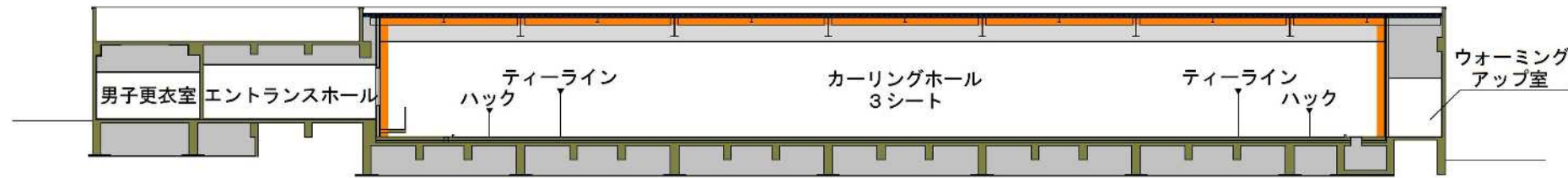
ハイテクパーク道路側から見たイメージ

南側立面図



社会連携推進センター側から見たイメージ

東側立面図



断熱性と気密性を兼ね備え冷気を安定して保つ「インナーシェル構造」

断面図

凡例
— : インナーシェル

(5) 構造・設備

- ・本施設は高い断熱性能を必要とするため、主体構造を鉄筋コンクリート造とし、大きい柱間隔となるカーリングホール上部は鉄骨造とします。
- ・照明はすべてLED器具とし、トイレの人感センサーなどの採用により光熱費等の低減を図ります。
- ・製氷冷凍機は、冷媒にCO₂を利用したCO₂方式の冷凍機を主体とするシート冷却システムを採用します。
- ・空調方式はガス式を主体とした空冷マルチヒートポンプエアコンと小型温水ボイラーによる冷暖房を行います。